

3 アンケート結果

学校長へのアンケート

(1) 対象受講者はどのような経緯により本研修講座を受講しましたか。(複数回答可)

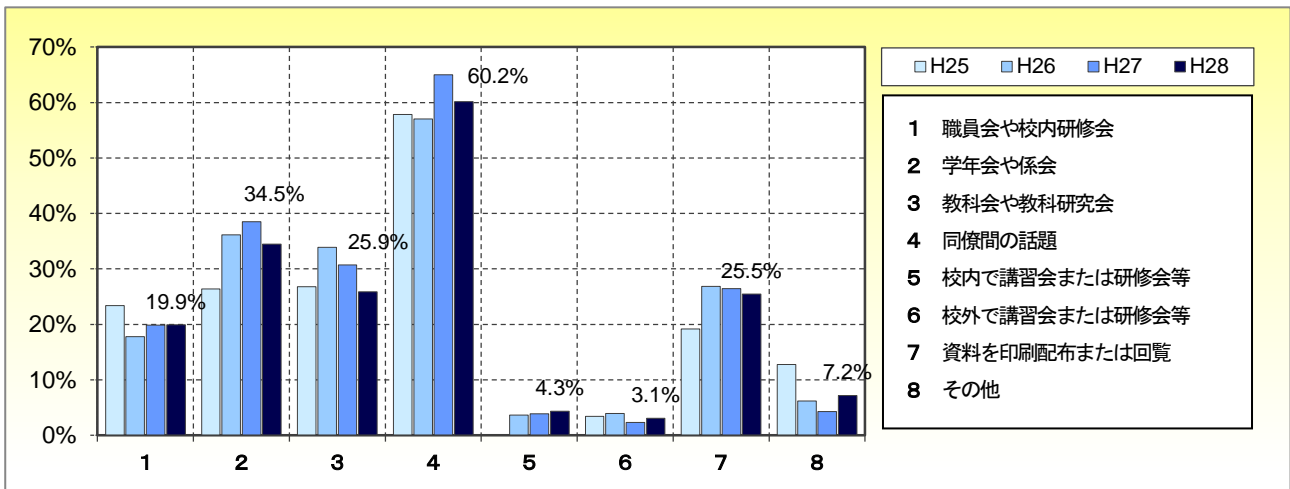
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1 本人の希望による。	97.5%	97.7%	99.4%
2 学校長の勧めによる。	3.7%	3.5%	3.7%

※重複回答があるため合計値は100%ではありません。

総合教育センターより

受講者本人の希望による受講が99.4%まで増えている。学校組織マネジメント、授業改善、学級づくり、法改正対応・注目動向など、学校が抱える課題解決をすすめるためにも、学校長からの受講を一層すすめてください。総合教育センターとしても、“すすめたくなる”研修講座の構築、案内をしていく更なる工夫が必要と考えています。

(2) 対象受講者が受講した本研修内容の共有（報告等）は、どのように行いましたか。(複数回答可)



学校長(記述) その他も含め特徴的な取り組みがあれば具体的にお書きください。

教科等教育研修

- 研修して学んだことを**早速授業に取り入れ、全校研究授業を行った**。授業や研究会を通し、他の職員にも紹介した。
- 校内の授業改善部会に所属しており、研修会で学んだことを研究部会でも話題にでき、全校研究に生かすことができています。**学年会における教材研究でも、授業展開の工夫など、研修内容を共有することができた**。
- 学んできたことをもとに**調べ学習のワークシートを作成し、自分の学級だけではなく他の学級にも活用してもらい、意見を聞いて修正している**。
- 今回は具体的なモデルの入ったCDも提供されているので、タブレットを含めた、授業の進め方の多様性について、教師の中で研修内容を広めることができた。
- **研修内容を教科主任として、同じ教科の職員に伝える**とともに、自身の授業においても生かしていこうとしている。
- 研修内容をもとに、12月に**授業公開予定**。教育事務所指導主事による助言をいただき、希望者による研修会をもつ。
- 総合教育センター主事の勧めにより、**実践を発表し、授業力向上に向け、自分の課題等がより一層明確になった**と思われる。
- 2学期にある「給食作成委員会」で**話題にし、献立づくりに役立てている**。
- 直後の**校内授業研究会で、具体的実践を通して伝達された**。また、研究会の中で、学びの中身が語られた。
- **各学級のQ-U検査結果をもとに、研修会を行った**。
- **図書館大会に向けて、大会準備の教科会で研修内容を報告し、共有化することができた**。
- 報告をまとめて全職員に回覧してくれたので、研修内容を共有することができた。また、生徒に対しても図書館の連絡黒板を使って、調べ学習の方法について情報提供してくれた。
- 研修内容について教科内で話題にし、まずは実際になにができそうか検討している姿が見られた。教科会に技術科の教員がおり、かなり専門的な意見交換が交わされた。

情報教育・産業教育研修

- 生徒会係として、**生徒の活動記録をビデオ編集でき、生徒に指導している**。

- 農場主任として農場改革に積極的に取り組んでいる。もっとも必須な職員意識改革の部分で研修成果が出ているよう感じる。
- 受講内容をベースに、町役場と連携したフィールドワーク、実習を企画・実施している（2学期以降も継続予定）

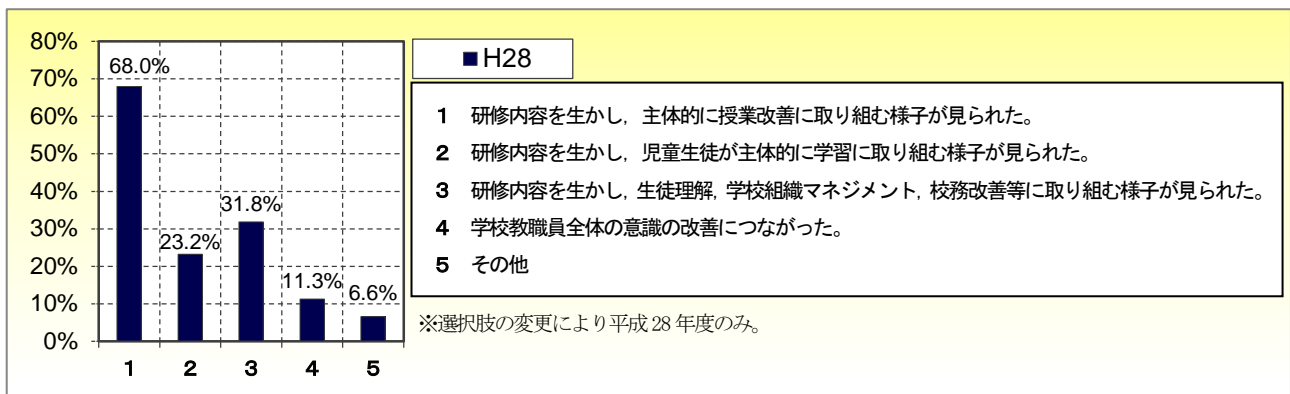
生徒指導・特別支援教育研修

- 校内の研修会で事例提供者として意欲的に取り組んだ。
- 職員研修係として、講座で学んだ手法を取り入れた研修を企画推進していた。
- 特別支援教育の立場から ICT の活用について可能なことから取り組んでいるようだ。資料内容を関係の職員と確認し将来的に取り入れたいことについても検討し始めている。
- 研究主任として全校研究推進に於いて研修内容を活用していた。
- 校内支援委員会で、研修した内容を生かして個々の児童の支援策を検討することが出来た。
- 本校の特別支援学級在籍の児童に合わせて、研修の内容を説明してくれたので、大変分かりやすく説得力があった。

総合教育センターより

受講後の共有・活用への支援をすすめて3年目を迎えます。調査対象人数を倍にしても、数値的に大きな変化はみられないことから、受講内容の共有・活用、資料の配布・回覧は定着していると考えています。また、記述部から研修内容を受講者個人だけのものとせず、授業研究会や校外の研究会での発表を積極的に行っている様子が見えます。センターとしては、より一層の共有と活用がすすむよう講座内での配布資料、講座内で具体的な共有方法を示す工夫をしていきたいと考えています。

(3) 本研修講座後、対象受講者および教員の取組にどのような取り組みや変容が見られましたか。（複数回答可）



学校長（記述） その他の場合は具体的にお書きください。

教科等教育研修

- 学年主任として同僚の若い講師に内容を伝え、共に教材研究・指導研究に役立てた。
- 国語の物語文の学習で、主人公の心の変化を曲線で表現し、理由や根拠をお互いに発表し合うなど、指導に工夫がみられるようになった。一人一人の表現の場を設定することで、個々の読み取りを大切にしたい学び合いの場となっている。
- 教員間で教材及び授業内容について意見交換を積極的に行う機会が増えている。
- 子どもの疑問を大事にし、授業を組み立てようという意識をもつようになった。研修で学んだ事が、自己の授業改善につながっている。
- 実験やICTに意欲的に取り組む教師であるが、研修を踏まえてどのような目的で行うのか、また、生徒のどのような学びを仕掛けるのか意識化されるようになった。
- 授業参観に行ったとき、魚の解剖の授業をしていました。理科専科のいない本校で、受講した教諭は講座で学んだことを生かして自信をもって指導していました。また、解剖をためらう児童への支援も適切でした。
- 地層の学習がない学年の担任であるが、6年生が学習しやすいように理科主任として展示物を用意したり、資料を整理したりした。このようにすることで、6年の担任が指導しやすい環境になったり、児童が化石への興味を高めたりすることにつながった。
- 自分の授業の様子をビデオに録画し、検証する姿が見られた。
- 地元食材をより有効に活用していく意欲が高まった。
- 研究主任として、本校の道徳指導計画や授業づくりに研修を生かし、再構築するよう研究に取り組んでいる。
- 実態把握につなげることができた。二学期に向けて一人一人に寄り添う学級づくりに取り組む様子が見られた。
- 図書館司書であるので、学習に役立つ図書館整備について役立ったようである。

情報教育・産業教育研修

- 早速、研修内容（具体的な ICT 機器利用）を授業の中で試していた。その成果についても、授業後も話題にしていた。
- 9月の運動会に向けてこれから練習が始まりますが、子供たちが視覚的に自分のフォームや演技の様子を確認し、主体的に練習に取り組むことをねらい、練習の過程でビデオ教材を利用する予定です。研修で学んだことを生かしたいという強い思いを持っています。

- 中学生のオープンキャンパスに、体験班として実施したコンクリート圧縮試験で参加型の体験を取り入れ、工夫していた。研修で学んだことは大変勉強になったようです。生徒の動きが良かったのは動機付けが正しく行われている証である。これも研修の成果である。
- 演習を通して総合実践システムに対して理解を深め、9月以降の「総合実践」の授業で活用するべく取り組んでいる。

生徒指導・特別支援教育研修

- 10年研ジョブシャドウイングでの特別支援学級への訪問と併せて、さらに発達障がいへの理解を深め、クラス及びクラブ活動での生徒指導に役立っている。
- 児童に対して自信を持って接している姿が見られました。児童の対応について意識改善にも役だったと思います。
- 研修そのものの内容が、互いの悩みを出し合えたということで安心感につながったとの報告を受けました。
- より具体的に学校全体で取り組むことが出来るよう、8月下旬に職員研修会を行うことになっている。これまでも特別支援コーディネーターとして十分活躍してきたが、一層リーダーシップが高まることを期待している。

総合教育センターより

アンケート対象講座の領域は、授業改善、児童・生徒理解、マネジメント等様々であるため、回答は分散していますが、受講者が主体的に授業改善に取り組む様子は学校長からみても顕著であることが見えます。記述部にあるように、講座の受講をきっかけに教員間での意見交換が増えたこと、互いの悩みを出し合えて安心感につながったことは嬉しい限りです。センターとしては、教員の授業改善が、児童生徒の主体的な学習への取り組みへとつながることが増すように講座の工夫を考えていきます。

- (4) 本年度の研修事業の重点は「アクティブにつなぐ研修講座」です。
 貴校教員が研修講座を受講したことは、受講者自身、子どもや同僚教員がアクティブになることにつながりましたか。
 その他、要望等があればお書きください。

学校長(記述)

教科等教育研修

- 発問が端的になり、子どもたちの活動が生き生きとしていた。研修の成果が表れていると感じた。
- 授業内で使っていた単元計画の図は、単元のゴールに向け、今、自分は何を学んでいるのかということが分かるものだった。他の先生方も、授業に取り入れたいという意見が多かった。
- 研修の成果を日常の授業に生かそうと、積極的に取り入れた授業を展開している。
- 今回の受講をきっかけに、つける力を意識した授業づくりに取り組むようになってきている。
- めあてを意識させる掲示物や読書記録など、意欲的に取り組んでいる。他校の先生とも研修内容を共有し、授業内容を深めようと努力している。
- 子どもたち一人一人が生き生きと主体的に活動に取り組めるよう、教材、教具を工夫するなど、アクティブな学びを求めて努力している。
- 受講により、単元計画の見通しをもつことができ、以前よりも国語に対して苦手意識が薄くなってきた。また、子どもたちも積極的に学習課題に取り組み、活発に意見を交流していた。
- 本人の学びの姿が、学年会や研修グループの同僚職員にも刺激になっている。
- 言語活動を大切にしたい学び合いの場の設定をどの教科でも志向しており、アクティブに学ぶ学級づくりにつながっている。
- 子どもたちが主体的に取り組む場面も多くなった。
- 学んだことを教科研究部会、学年で共有し、活かしている。その姿を見て他の職員も刺激を受けている。
- 昨年と比べて「何をどう変えたので『アクティブにつながった』か?」と問われても、見えにくい。
- 復命時「受講してよかった」の言葉が印象的であった。早速、指導に活かされたもはこの意識だったと思う。ありがたい。
- アクティブ・ラーニングとは何か、アクティブに学ぶ状態とはどのようなことかについて理解が進み、子どもや同僚へと少しずつ広がっています。形だけでなく自主的な深い思考が生まれる授業へとつなげていけるように、さらに応援していきたい。
- キャリアアップ研修以後についても、ライフステージに応じた指定研修を設定していただくことにより、研修を通して自ら校内(各郡市)における役割をもって、教職員がアクティブになれると考える。一つ上に対応する研修体系をつくっていただきたい。
- この研修を校内外の先生方と共有し、そのことをきっかけの一つとして、更に新たな授業の工夫や教材開発に取り組もうとしている。同僚がアクティブになることにつながっている。
- 校長自身の心構えが不十分なせいで、「報告」の機会や活用のあり方が定着しておらず、研修したことが広がるということについて十分ではない状況がある。職員会数減等の対応など工夫し、共有できる環境づくりに努めていく。
- これから英語科への対応を各校で考えなければなりません。英語のできない教師がどう教材化やアイデアで子どもと共に外国語を楽しむことができるのか、実践例等を示していただけるとありがたいと思います。

- 受講を通して学んだことを生かし、学校の周りにはいるザリガニに興味をもった子どもたちとザリガニ池を作る活動に取り組んでいます。
- 鑑賞の授業において、説明的な部分を重視するのではなく、生徒たちの自由な発想から授業を進めていく方法は、他の分野や教科でも参考になると思う。
- 子どもの発言をつなぐ教師の出を意識して授業の様子が見られた。その授業の様子を初任者や他の教師が参観することで各々が授業改善に生かそうとしている姿が見られた。授業参観をしたり、実際に演習したことが、授業改善の具体的なイメージにつながったようである。今回のような講座を増やしていただきたい。
- 教材研究が深まり、自作できるものも増えた。新しいことも導入するきっかけとなって「つながる」にふさわしい研修であったと思う。
- ものづくりの楽しさを味わうことができ、授業に取り入れようとする意欲が向上した。
- 個に応じた対応も心がけ、適切な支援を行うことにより、子どもたちの主体性が伸びてきているように思う。
- 「アクティブにつなぐ」ということが、私たちにとって、どういうことを意図しているのかわかりにくい面がある。
- 受講後、校長にどんなことを学べたかを研修で作成した教材をもとに報告があった。是非、図書館経営に生かすように話した。大変積極的に取り組んでいるのでありがたい。児童の読書活動にもプラスになっている。
- 研究主任として、学力向上のため、家庭学習改善について具体的に動いてくれるようになりました。

情報教育・産業教育研修

- 前年度に比べ今年度は、校内の受講者が大きく増加しました。理由の一つに、前年度の受講者が行ってよかったことを同僚に伝えたからだと思います。また、研究主任が自ら率先してセンターの講座に参加している姿を他の職員が見ていることも受講者数の増加につながっていると思います。
- センター研修を受講し、新しいことを少しでも取り入れようとする姿勢、学んできたことを同僚の間で話題にしようとする姿が見られ、活性化が図れているように思う。
- 総合教育センターの本年度の目標が「アクティブ・ラーニング」を目指しているのは理解できますが、私を含め多くの教員の理解が不十分です。今回のHPの講座は、アクティブ・ラーニングを現場に生かすことにも十分役立つ内容だったようです。

生徒指導・特別支援教育研修

- 報告等を通じて学びを深めているが、受講者のプレゼンテーション技能が高くはないことが改善されない。
- ポケモンGoの配信があったこの夏、研修内容をすぐにアクティブに活用することができ、ありがたかった。
- 受講者は自身が学ぶことと、学んだことを教え広げることの二面性をなしてこそ“アクティブにつなぐ”ことになると思います。ただ教え広げることに関るプレゼンテーション技能が高くはないことはなかなか改善されません。残念です。
- 生活単元学習の実践に前向きに取り組んでいた。職員相互のつながりを深めることにつながった。
- 職員会での研修報告を聞き、次のような感想を述べていた職員がありました。以前子どもは注目したところがよくも悪くも伸びると聞いたことがある。大人が子どもをどう見るかが大切なのだと思います。障がいのある子にはなおさらです。改めて勉強になりました。わかりやすくまとめてくださり、参考になりました。
- 参加者が、本研修において多大な感銘を受け、職員に伝えたいという思いをつよもち、熱心に伝達講習を行っていた。
- 学年主任として、学年会や係会で、受講して学んだことを積極的に伝えており、意欲的に取り組んでいます。
- アクティブにつなぐことが集まる研修へと裾野を広げていくことにつながっていくよう希望します。
- 自己研鑽することで、教師自身の視野が広がり、専門性が高まり、やがて学級の子どもたちに返っていく。そのプロセスをアクティブと定義するならば、今回の研修は効果的であったと考える。
- 研修内容をもとに、校内研修を企画し、職員に広げてくれていてアクティブでした。
- 本校では、「授業のユニバーサルデザイン化」を重点研究の柱として位置づけています。どのようにすすめていくか糸口を求めています。そんな折り、この講座に参加させていただいたことは大変有意義でした。

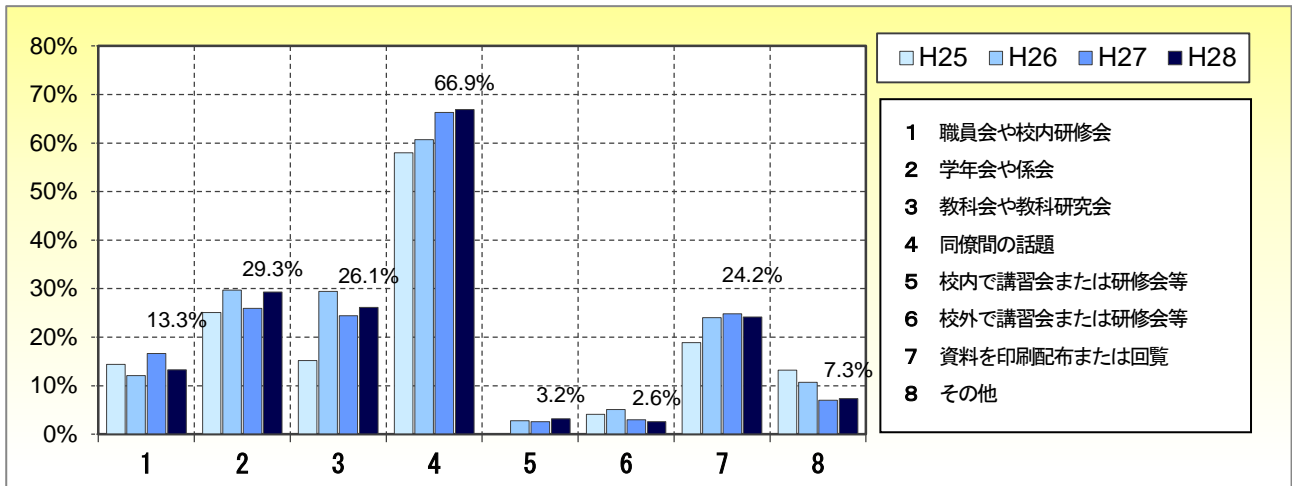
総合教育センターより

学校長にもはっきりわかる受講者の変化があったことにより、受講者自身、子どもや同僚教員がアクティブになったことがわかる記述が多く見られます。そして、「子どもの活動が生き生きとしていた」「子どもたちも積極的に学習課題に取り組み、活発に意見を交流していた」「子どもたちの主体性が伸びてきている」という記述より、子どもをアクティブに総合教育センターがなぐことができたことが見え、嬉しい限りです。

一方で、「教員がアクティブになる」とは具体的にどのようなことなのか伝わっていなかったという記述も見られたことから、年度当初の校長会・教頭会、講座案内等で丁寧に説明するよう改善を図りたいと考えています。

受講者へのアンケート

(1) 研修内容をどのように校内および職員間で共有（報告等）しましたか。（複数回答可）



受講者（記述） 特に効果・反応があった共有（報告等）の仕方、同僚の感想・意見を具体的にお書きください。

教科等教育研修

- 学習の流れをつくるためのサイクルに驚いてしまいました。短時間でねらいと手立てが明確になり、板書にも使えるため、「やってみる！」という方が多かったです。
- 初任研で授業実践を発表する機会があり、本研修で学んだ内容を生かした教材や板書写真を示しながら共有した。本時の課題を意識させ、単元の見通しを持たせる工夫を共有することができ、「自分の授業に生かしたい」という声が多く聞けた。
- 「読む」「書く」の単元を行う際に、学んだことを生かして話し合いをした。学年で学習内容を検討するので、学年会で共有することは、学んだことが授業に直接生かすことができた。
- 教わったことをもとに授業公開をし、他の学年でも使えそうな単元展開の組み立て方だという感想であった。
- 学習問題とまとめ、Q-A関係がとても大切であることを伝えた。
資料を回覧し、必要な部分をコピーしていただいた。「とても参考になって、コピーした」と先輩の先生もおっしゃっていた。
- 調べ学習のワークシートと他校の先生に教えてもらい、さっそく授業で試すことができた。
- 歴史の構造図を実際に作成してみることで、多様な視点で単元を見ることができた。
- 算数は答えが出てからが本当の勉強だということを再度頭に入れる機会になった。
- ミドリムシや水の中の生き物、メダカの卵の様子を動画で記録したものを見せて共有しました。「小さな生き物やメダカの卵の動く様子を子どもたちに見せるときに使えるね！すごい！」といった反応でした。
- 授業公開による実演が一番他の先生方にも伝わりやすかった。
- 簡易の工夫で物理の授業が改善されることに驚きがありました。
- 同僚の先生は、「知らなかった」と言って、資料を読んでくれました。
- 研修後すぐに授業でサバの解剖を行ったため、教材研究もかねて1匹解剖しながら共有を行った。体まるごとから学ぶことができるということに驚いていた。
- 機器が全く配備されていない中での、未経験の教材であり、「やっていけないといけないんだ」という戸惑いの声が上がりました。
- 英語科の先生方と「フォニックス」の学習について話題にすることができた。
- クローズドリーディングシートを使うことで生徒が英文をより丁寧に覚え、集中して取り組むようになったという意見があった。
- 研修後、新たに教材を作成し、臨んだ授業についての内容と生徒の反応を他校の英語教師と共有する機会がありました。使用教科書は異なりますが、その人も同様の教材を作成し、授業をしたところ、生徒はその活動に、非常に生き生きと取り組んだそうです。
- 4、5、6年の先生方への報告で、今後の授業への取組の参考にした。研究会の先生方に話し、共通理解して研究にあたることができた。
- 3学年会で研修で紹介されたリコーダー教材を提示しました。学年の先生はソラシドの音だけで演奏できる曲ということで感心していました。今後機会があれば取り組みたいといっていました。
- 音楽指導で悩んでいる先生と研修内容を共有し、それぞれの指導に生かすことができた。
- 美術の授業方法は工夫次第で無限にあるということ。中学生はピュアな心を持っているということ。我々の想像力よりも幅があ



講座風景 教科等教育研修
中学校英語 授業改善
～Tips for English Teachers～

ること。

- 美術館を会場として講座が行われたのはとても画期的。機会があれば参加したいという声を多くいただきました。
- 本校グランドデザインにもある「聴く」ということを大切にしたいアクティブ・ラーニングが県内でも重要視されていることを知り、研究について再確認できた。
- 製作したすきや袋を示し、やり方を説明した。「入れるものの大きさによって自由に包めるよさがある。日本人の知恵のすばらしさや伝統がわかる題材」などの感想があった。
- Q-Uの分析研修会で意見交換するときに、積極的に意見を述べたり聞いたりすることにより、学んだことを共有することができた。
- 講師の方の言葉に「子どもの頑張りを応援する教師」「最後まで先生であり続ける」というものがあった。この言葉が非常に印象に残り、話題に上がった。
- 研究会で共有したところ、図書館と教科とをつなげるためにどうすべきか考える機会となりました。
- 年間計画作成は大変だが、資料のおかげで見方・考え方が分かった(小学校)

学校力・学力の向上を目指す研修

- 雷について科学的な知見を教師に求められる判決が出ていることが驚いた。
- 法規を学ぶことの重要性を知った。研修を受ける必要性を感じた。
- 合理的配慮をするための事前の情報収集の大切さ、日々の児童への安全管理。
- 同僚と直接話し合う中で、危機管理のしっかりした職場内の共通理解は重要だと再認識した。特にリスクマネジメントについてはしっかりと皆で考え合う必要があるという意見が多数出された。
- 同じ講座を受講した同僚が「身につまされる」と話していました。全職員で、予防的スクールコンプライアンスに心がけていく必要性を感じました。
- アクティブ・ラーニングについては分からないところがあったが、主体性をもって活動することがALだと言うことに納得したと言ってくれた。

生涯学習推進センター共催講座

- コミュニティスクールの有用性や大切さなどを話す中で、コミュニティスクールの必要性を感じてくれた先生が多かった。

情報教育・産業教育研修

- ICTの有用性は認識しているものの、学校設備が不十分である現状について。
- ICTを使った授業を行い、同僚から使用してみたいといただいた。
- 「たとえ校歌であっても著作権には注意を」といった、見落とされがちな情報モラルについて理解できた。
- 係で話し合い、研修を生かして本校のホームページを修正していきたい。
- 指導主事から県の環境保全研究所(安茂里庁舎・飯綱庁舎)の見学が可能だと聞き、教科会で研究所のいくつかの講座で見学してみたいとの意見を多くいただいた。
- 子どもが主体となって、ネットで困っていることを共有し、ルールなどをつくる取り組みには共感する。
- 学年会で報告。講座の中で紹介していただいた教材等を共有することが出来て良かった。

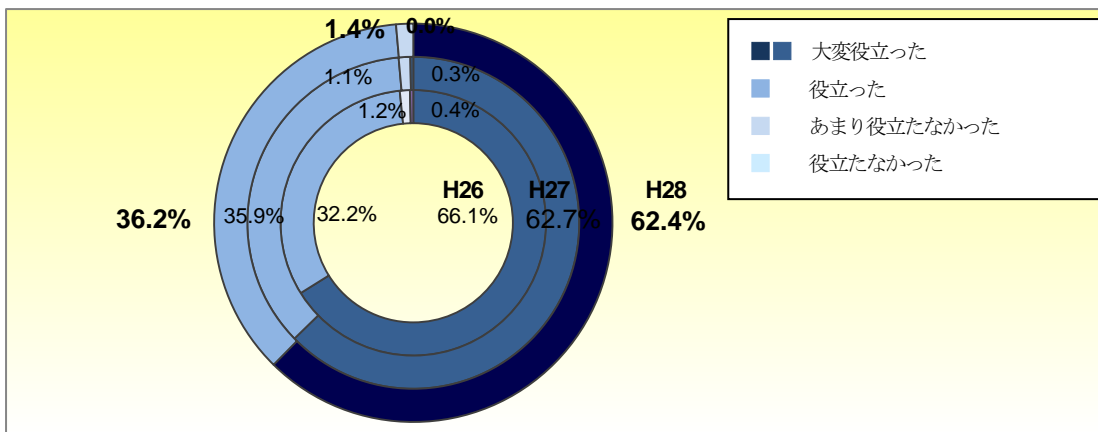
生徒指導・特別支援教育研修

- 紹介していただいた教材を購入し、学年会、研究会で職員が実際に体験してみました。
- プリントにまとめ配布。「子どもに合わせて」いくことが大切と感じました。私たちが合わせてもらうのではなく、私たちの価値観をさらに広げて子どもをみていくことが大切なのかな。と資料を見て改めて感じました。という感想を寄せてくれました。
- 自立活動の基礎や具体的な実践の仕方について、支援員の先生と共通理解することができ、授業中の支援に生かすことができた。
- 学習・コミュニケーション面で気になる児童について担任と研修後話をし、支援会議を開くことになった。保護者とも現状で共通理解することができ、その後、支援学級で、個別に関われる時間を設けたところ、笑顔で通級し、会話が増えてきた。
- 学壇会でインリアル・アプローチの種類の中のパラレルトークについて話題にしました。そして実践しました。
- 打楽器やベルハーモニーを使って、音と親しむことは子どもを楽しい気持ちに出来そうだねと周りの職員が話していた。布やトーンチャイムなど予算があれば学校で買えると良いねという話もした。
- 授業のユニバーサルデザイン化は義務教育で取組が進んでいるが、高校でも取り入れていきたい。

総合教育センターより

調査対象受講者の数を倍増しても、全体的に大きな変化はみられないが、「同僚間の話題」にしたという回答数は増え続けている。「(同僚が)自分の授業に生かしたい」「とても参考になって、コピーした」「知らなかったと言って資料を読んだ」「コミュニティスクールの必要性を感じてくれた」等の記述から、職場での話題にしたことが同僚をアクティブにしている様子が見えてきます。センターとしては、「授業公開による実演が一番他の先生にも伝わりやすかった」という記述に挙げられるように、受講者が受講内容を生かした授業実践、子ども理解、学校運営がすすむよう講座で支援する内容を工夫したいと考えています。

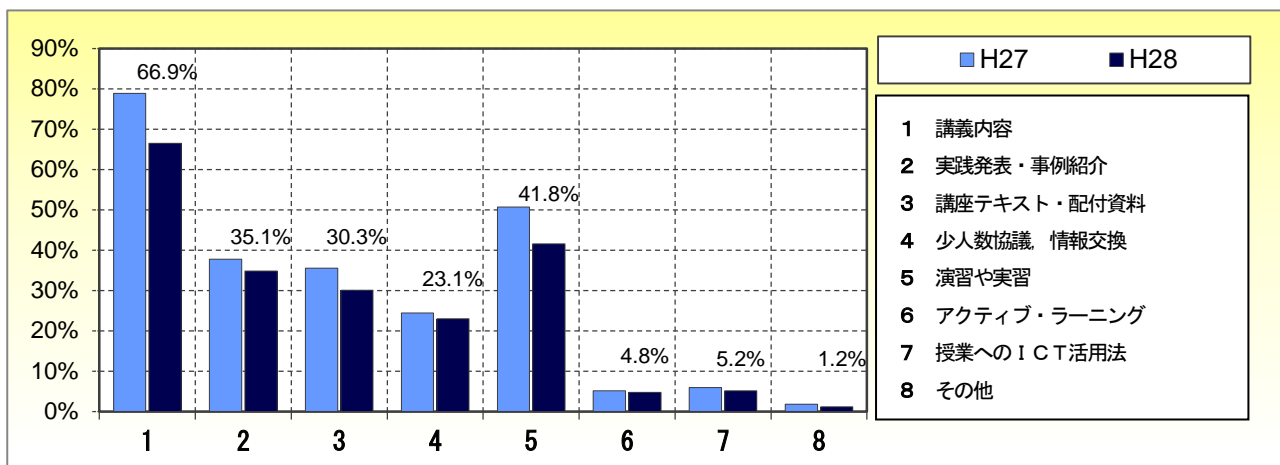
(2) 受講した研修内容は役立ちましたか。



総合教育センターより

「大変役立った」と回答した受講者が減少していますが、調査対象人数を2倍に増加したことによる変化と考えています。受講当日のアンケートを見ますと、受講者が講座に期待する内容が多様化してきています。センターとしては、直ぐに活用できるもの、課題解決への糸口となるもの、同じ課題を抱える教員との協議、ICT等について受講者の期待に応えられる内容へと再考したいと考えています。

(3) 「何が」役立ちましたか。(複数回答可)



受講者(記述) 「何が」役立ったか、具体的にお書きください。

教科等教育研修

- 実際の教材をもとに少人数協議を行ったため、多様な視点から教材を見直すことができた。
- 国語の授業の組み立て方や、単元を貫く言語活動の大切さ。指導目標の中でも◎で書かれている重点に絞って授業を行えるようになった。
- サイクルをもとに作った指導案では、実際に授業に使いました。私自身も何がねらいかがはっきりとわかるため、指導のどこに重点を置くか考えながら進めることができました。
- 児童への必要な支援が具体的でわかりやすかったです。
- お話の地図は、あのような教材研究があるのだと知って、勉強になった。
- 予想から追究してわかった事実を結論とするだけでなく、それをさらに「なぜ？」と考え、深めていくことの大切さを学んだ。
- 教科書の内容でなくても、地域素材の使い方によってつけたい力がつくということを知った。
- 社会の授業づくりの基本や知識の構造図など基本的な部分が再確認できた。
- 実践発表で先生方の取り組みを知り、また、演習を通して情報交換をする中で、授業づくりに対する意欲と、授業構想についてのヒントを得ることができました。
- 生徒の身近な観点に気付かせながら、公民的分野の内容を伝えていくための授業展開がとても参考になった。
- 学習問題から学習課題への流れや、ICTを用いたノートの映し方など。
- タブレットを使って、簡単に実験等を提示できた。病院内では、実験等に制限があり、今まで提示できなかった実験を提示できるようになった。
- 疑問に感じた実験を全員で協議して解決できたこと(鉄と硫黄の反応)

- 配布資料が**すぐに授業で使えるもの**でありがたかった。
- セロリを利用した道管を見せる。購入してそのままにしてあったセロリを使用したところ、5分ほどで目に見えた変化があらわれ、**児童の発見、驚きにつながりました。**
- 露頭見学や火山灰の洗い出しは、理科の原点である自然の価値を再認識するうえで、大きく役立つ内容だった。
- 外国語活動の授業の展開の仕方や、子どもが**できるだけ英語に触れられる工夫**を学びました。
- 「生徒から引き出す」ことの**重要性**を教えていただき、今、そのことを意識しています。
- 受講させていただいている私たちが、生徒役となり、事例を紹介していただいたので、実際の**授業のイメージがつかみやすかった**です。
- 生活科の授業を構想し、どのように考えたか先生方と共有したことで、**自分にはない視点やアイデア**を知ることができました。
- **打楽器を活用した音楽づくり**や**旋律づくり**の講義。
- 合唱団ではなく、4年生のクラス、中2のクラスの児童生徒たちにわかりやすく**アドバイスする言葉がけや実践法**。
- 実際に自分で手を動かして作品を作ることによって、子どもの立場に立つことができた。絵を**どのように評価すればいいの**かなど、見方を学ぶことができた。
- “**絵の具を使った学習の導入、道具の使い方**”や“**絵の具の積み木**”で授業の構想が具体的にイメージできた。
- 「**対話型鑑賞**」を実際に小グループで実践でき、絵に関して各のとらえ方感じ方を共有することができた。
- 調理実習をして「楽しかった、おいしかった。」で終わってしまう授業ではなく、**学びや発見のある実習にしたい**と思った。郷土について学び、その学びを生かした実習に、そしてそこからさらに学んだことをつながられるよう努めたい。
- **ジグソー法を用いた授業展開**はすぐに実践につなげやすいものだと感じた。
- **ルーブリックを用いた評価**は現在本校でも行う教科が増えているため、改めて家庭科でも取り組んでみようと思った。
- 実習が始まる前に**道具の管理方法**を学ぶことができ、学校で実践できた。
- **草花や野菜栽培への基礎知識**を学ぶことができ、大変役立った。実践発表では、実際の授業内容も見ることができたので、今後参考にしたい。
- 「特別の教科 道徳」に向けての変更点や、具体的な実践例の紹介。授業構想演習での指導観のとらえ方。「考え、議論する道徳」の授業を展開するための構想について。
- 主事の先生に**クラスのことを相談**させて頂き、今後の指導の方向を考えることができた。
- 特に話し合い活動で大切にすべき「**出し合う**」「**くらべ合う**」「**まとめる**」というキーワードが参考になった。
- 特別活動についての**講演をビデオにするなど、見やすい方法**だったので、講義内容がよく理解でき、アクティブ・ラーニングの大切さもよくわかった。
- テキストについていた**板書の写真が参考になりそうなものばかり**で、イメージもよく沸いた。
- **グループでの話し合いにおける司会進行の仕方**、活動後の振り返りにおけるまとめ方。
- **義務の先生方、学校司書の先生方の作品を見て、アイデアや出来のすばらしさ、手慣れていること**などに、高校の現場はまだまだだと反省した。
- **他中学校での図書活動の取り組みの工夫点**などが聞け、図書委員への働きかけの参考になった。
- 土作りや花の育て方について、資料や見本を見ることでポイントを知ることができ、何が必要だったのか知ることができた。
- **他の学校で、どのような家庭学習に取り組んでいるのか**を知ることができ、ありがたかったです。

学校力・学力の向上を目指す研修

- 講師の講義・質疑応答から、3年の授業で**模擬投票**することにおいては、**公職選挙法上の様々な制約・問題点があることを具体的に指摘していただき**、3年では実施しなかったが賢明であったと思う。
- キャリア教育とは何か、よくわかりました。学びたいことが学びました。
- **学校で起こった緊急時の対応**について、たくさん事例を示していただき、何がまずかったのか、どうすればよかったか、具体的に考えることができた。(複数回答)
- **雷対応**など緊急時の指針は常に最新のものをチェックしなければならないこと。
- 教員の資質向上がなぜ叫ばれるのか、講義の内容を受けてストンと胸に落ちました。平成の時代を生き抜くための方策が見えた気がします。
- **危機管理意識が高まる内容**だった。
- 4月の異動で学級担任となったので、**講師の先生のクラスマネジメント、話しの進め方、指名の方法**なども含め勉強になり、あっという間の一日でした。

生涯学習推進センター共催講座

- コーディネーターの役割や**コミュニティスクールのあり方**、各校の実践や取組が参考になった。「外部協力者の方々の会話や、その方々の記入された感想に出てくる子どもたちや学校の評価が、まさに生きた学校評価である」という話が、自分にとって最も印象的であった。

情報教育・産業教育研修

- 著作権に関する知識や**著作権に関する疑問を解決していくツールを得られたこと**。
- ICTを取り入れた授業を行っていく方法（ICT機器は目的ではなく手段であること）を学ぶことができたため自分の役にたった。
- 授業における**ICT機器の具体的な活用例**を学ぶことができた。
- **ホームページビルダーの使い方が非常に理解でき**、今後のHP作成に役立てることができます。
- 中小企業同友会に所属する**経営者の視点からの情報収集能力、協調性等がなぜ大切かといった具体的な話**を聴けたこと。
- 労働を続けるために必要なこと。新しいものをつくるために必要なこと。企業が求める人物、求めない人物。
- **パケットテスト**などを用いて簡単に水質や土壌調査ができることを知り、早速実践しています。

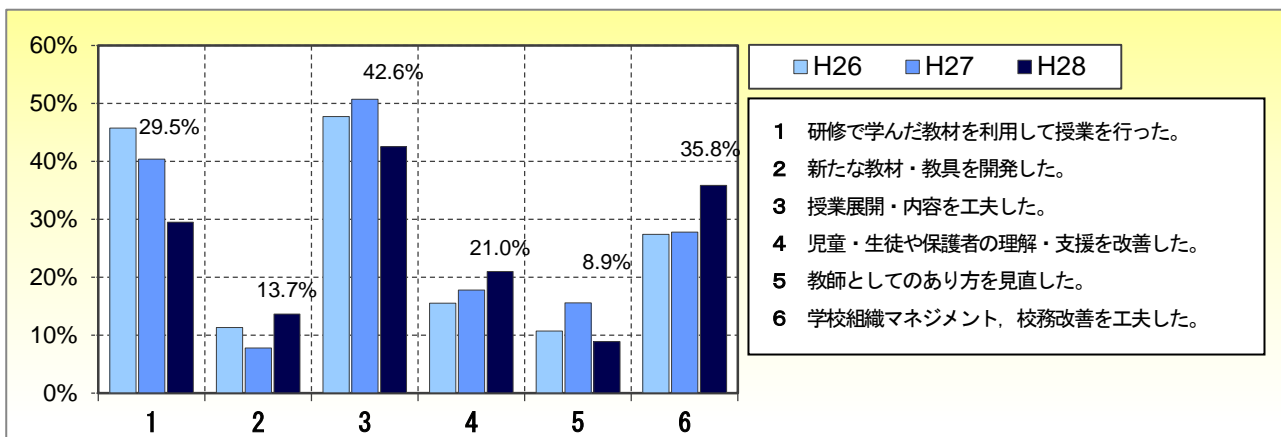
生徒指導・特別支援教育研修

- 同じ**知障学級を運営する先生が直面されている悩み**が多様で、それを知ったことがありがたかった。
- **15分解法**でグループの先生方から頂いたアイデアを実践した。
- **時間の構造化**がとても勉強になりました。
- **特別支援学級における自立活動の意味**がとてもよく理解できた。
- **子ども一人一人を柔らかく受容的に見られるようになった**。
- 「支援する子が目立たないように」という内容のお話を何度も聞いたので、毎日の生活の中で、毎日の生活の中で常に頭に置くようになった。
- その子に応じた細やかな対応や必要な子に**必要な分だけICTを活用する支援**。
- 実際に**WISCの検査を体験してみると、注意しなければいけない点が体感できたのでよかった**。
- 音楽教育に対する考え方、音楽だけでなく、その子の**好きな活動を通して自信や自己肯定感がもてるようにする**という考え方を学ぶことが出来た。
- **参加型の講義で分かりやすく主体的に学べた**。写真やVTRなどの事例から、日々の授業や個別の指導計画に大変役に立った。

総合教育センターより

昨年度はICTマークのついた講座に絞ってみると、「ICT機器の紹介と利活用」が役立ったと回答した受講者は10.9%であったのに対し、本年度は「授業へのICT活用法」と回答した受講者は25.0%と改善しました。昨年は複数回答数が一人当たり2.5個だったのに対して本年度は2.1個と減少しています。これにより全体的に変化がありますが、調査対象人数を2倍にしたことによるものと考えています。

(4) どのように活用しましたか。(複数回答可)



受講者(記述) 具体的活用法についてお書きください。

教科等教育研修

- 今までなんとなくで授業が終わっていたが、**つける力や、大切なポイントを意識して授業**を行うように努めている。
- 子どもへの**発問の仕方**を、**的を絞る**ようにした。
- 子どもが**進んで考え**たくなるような**学習問題の設定**。
- **予想⇒理由づけ⇒推論**という**授業展開の工夫**をした。
- 大正時代の授業づくりでは、**資料作りやジグソー法の展開やポイント、問いの重要さ**などたくさんを学ぶことができた。で
きるだけ毎日の授業に生かしている。
- 4段階の指導レベル（**ねらい・めりはり・見とどけ・まとめ+ONE**）を実行してみた。
- たし算ひき算の筆算の単元で、**学習問題→見通し→学習課題の流れ**を見直し、**改善**した。
- 原子や分子など、**見えないものをモデル化**して定着につなげることができた。

- 認知や定着が難しい児童に、くり返し映像やアニメーションを提示し、理解につながっていたと思われる。
- 音読用のクローズドリーディングシートを2パターン作成し、授業ごとにそのシートを使用し、音読活動をしている。
- 教科書の文とパートに分けて jigsaw reading 化した。
- 基本的な考え方を見直し、授業での児童の活動をどう仕組むか、工夫しました。
- コンセプトマップ①初見の英文を読み、コンセプトマップを作成させる「読み」の授業②少し前に行った Unit の復習として、教師の書いたコンセプトマップを基に retell, rewrite させる活動を行った。
- 今までではアルファベットを重視せず、音声を中心にしていたが、これからはアルファベットや発音記号なども必要になると思うので、教材にはアルファベットを意図的に書くようにした。
- カエルをつかまえてくる子に、あえて、「どうする?」と問いかけ、みんなでカエルが幸せにくらせるためにはどうすべきか考えました。
- 内容を工夫したというよりは、子どもへの声かけや見方が変わったような感じがしました。
- 音楽集会で歌った歌を6年で歌い、自分たちの歌声を録音して聴いてよいところと課題について意見を出す授業を行いました。
- 授業の合唱場面や合唱団の指導の際音圧のかけ方やボリュームの出し方を活用した。
- 子どもたちに「どうしてその形にしたの?」「どうやってその色で塗ったの?」などと、子どもたちの思いを聞きながら進める授業に挑戦しました。
- 映像を用いた鑑賞の授業を行い、生徒によりリアルに作家や作品について触れさせ、それが社会とどうかかわりをもつのかを考えさせた。
- ポイントをしぼって比較する、班で一人一人担当を決めてポイントを確認する等、被服実習分野で早速活用できるよう準備を進めている。
- 明確な指導観をもって発問計画を立てた。「第〇回道徳の授業」というように、計画的、意図的に授業を展開できるようにした。加えて、学習した道徳的価値を掲示していくことにした。
- 今まででは話合いを何となく行っていたが、先を見通した話合いにしようとした。Q-Uの結果から、まずは教師と児童の縦のつながりを作るために、子どもたちの話をできるだけ細かく聞き、支援の方法を探るようにした。
- 教育課程の事前研究に役立てることができた。
- 図書館からの働きかけ、発信をするのに、児童の関心が向く掲示等作成ができた。

学校力・学力の向上を目指す研修

- 参院選の模擬選挙をする実施するにあたって注意点に留意しながら教材を作成した。
- 今行っている活動の内容を見直し、どの活動が将来につながるのかを考えながら授業ができるようになった。
- 時間の使い方マスターの演習を夏休み前の受検生に実践した。
- 日々の保護者、児童に対する自己の接し方を振り返る機会となった。
- 緊急時対応マニュアルを作成する際、公的視点も考慮しながら作成した。
- 運動会の組体操の安全確保への意識を高く持てるようになった。

生涯学習推進センター共催講座

- 改めて、信州型CSのあり方やねらいがわかったので、学校運営委員会設立に役立てたい。

情報教育・産業教育研修

- 保健の授業を ICT 機器を使って授業展開をしている
- パワーポイントでの授業の導入で、映像・画像から”なぜ”を考える展開とした。
- 情報の授業の中で、生徒たちのグループワークを取り入れ、考えさせる内容にしてみた。
- 学校情報セキュリティのチェックシートを配布・説明し、先生方に自己診断してもらいました。
- 繰り上がり、繰り下がりの方考え方を補える20玉そろばんを作った。

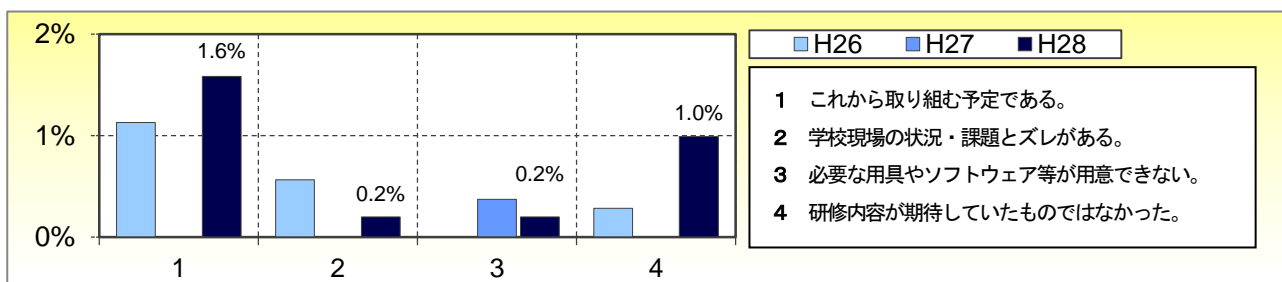
生徒指導・特別支援教育研修

- 入級している児童の WISC 検査の結果を再度見直し、把握することができた。
- 支援会議などで保護者に検査結果を通した視点で今後の支援の方向を提案できた。
- 一日や一時間の授業の流れを視覚的に掲示することやスモールステップで課題を用意したり少しずつ繰り返し学習するようしたり、苦手意識を持たせないよう、できることで自信をつけさせていくようにした。
- 言語発達の基礎に伝えたい気持ちが大変大切であることを意識して指導が出来た。
- 子どもたちのつまづきを取り除けるよう、音符カードを作成した。

総合教育センターより

「研修で学んだ教材を利用して授業を行った」と回答した数が減少していますが、これは調査対象に生徒指導・特別支援教育部の講座や教育法規と学校組織マネジメントの講座の人数が増えたことによります。これにより「児童・生徒や保護者の理解・支援を改善した」「学校組織マネジメント、校務改善を工夫した」と回答した受講者が大幅に増えています。

(5) 「役立たなかった」または「活用できなかった」理由をお答えください。(複数回答可)



受講者(記述) その他

- ICTの活用法について、もう少し知りたかった。
- 内容が具体的ではなかったので、分かりづらかった。
- 現場に即した、実用可能な内容を引き続き希望いたします。

総合教育センターより

この設問では、特に変化は見られませんが、センターとしては、上の3つの記述意見を次年度講座構築に生かしていきたいと考えています。

(6) 本年度の研修事業の重点は「アクティブにつなぐ研修講座」です。研修講座を受講したことは、自分自身、子どもや同僚職員がアクティブになることにつながりましたか。その他、要望等があればお書きください。

受講者(記述)

教科等教育研修

- 子どもが生き生きと授業に取り組めた(付箋を取り入れた授業の実践により)。
- 学年の先生と研修内容を共有し、すぐ実践できた。
- 自分自身がアクティブになることにつながったと思う。
- 子ども達も付箋を使うとなると喜び、たくさん使おうとし、意欲的な面を発見することができました。
- アクティブになったかはわからないが、学びは深まった。
- 子どもの実態を見て「どうしよう…」と思っていましたが、研修を受けて、「これをやってみよう」「こうしたらどうか」と考えられるヒントをいただいたので、アクティブにつながったと思う。
- 自己肯定感が下がっていたので、自信を持つことにつながった。
- 自分自身が教える題材に興味をもって授業を行うことができた。
- 多様な視点から地理というものを見られるように心がけるようになったので、つながっていると思う。
- 講座を通して、教材研究のおもしろさ、他の先生方と意見交換をすることのおもしろさ、重要さに気づくことができた。自身もアクティブにつながる事ができた。
- 「自分の発想が変化→子どもが変化→同僚の職員に報告」…授業が変わると子どもが変わった。
- アクティブになっていたかは、確認できていませんが、今までできなかった実験を提示することができ、教材準備で授業をする私が少しアクティブになった気がします。
- 一つ気になることがある。何が何でも「アクティブ・ラーニング」に結びつけることはないだろうと思う。
- 生徒の授業への意欲が地域の教材によって変わり、とても意欲的に取り組むことができています。
- 研修の中でいろいろな活動を体験したり、参加していた先生方と情報交換したりすることでたくさんの発見や気づきがありました。
- また、そこからアイデアを得て、授業につなげることができたので、「アクティブになること」につながったと思います。
- つながりました。昨年度も受講させていただきましたが、昨年度と違う内容もあり、大変勉強になりました。また、同じ内容でも再確認という意味で、大変ありがたかったです。
- 研修内容を研修報告として同僚に伝えました。研修内容の一部を、職員研修でワークショップをしようと考えています。アクティブな研修のためには、ワークショップ形式がよいのかと思います。
- 外国語活動を通して、子どもとのコミュニケーションがとりやすくなった。
- つながった。自分自身、さらに研修したいという意欲が高まった。
- 研修後の自分の授業がとても変わりました。専科の経験がなく、今まで授業の進め方もよくわかりませんでしたが、子どもたちがたくさん楽器に触れ、意見を言い合い、音楽づくりを楽しむことができるような授業を考えるようになりました。
- どのように指導したらよいかや、実践例を知れたことで、自分もやってみようという意欲もわき、自分でもできるのではないかと、前向きになれた。ありがとうございました。

- 自分自身の指導で満足せず、**新しい指導方法や内容に取り組んでみようと思えた**点でアクティブになることができた。
- 生徒が楽しみ、力がつく授業を目指し、近隣の先生方と積極的に連携を図るようにしています。生徒たちがアクティブに学ぶという面では、まだまだなので、少しずつ頑張りたいと思います。
- アクティブというのがよく分かりません。
- 子ども自身がクラスを創るために“アクティブ”になるための大切な要素を、この研修を通して学ぶことができた。
- 自信をもって資料提供することで、子どもたちに「**頼れる司書**」をアピールできたことは、**生徒からの質問が多くなることにつながり、結果として来館者が増えた。**
- 他の方のアイデアが間近に見られる良い機会だった。近くの公共図書館と共催で**夏休み前、中、後にイベントを開催**している。常に新鮮で楽しい図書館作りを心掛けていきたい。
- まずは自分がやってみて「楽しい」と思えるような調べ学習を考案することが「アクティブ」につながると思う。

学校力・学力の向上を目指す研修

- 本講座もアクティブに感じましたが、上越教専大の講師の講義のなかでの**情報交換がすごくアクティブ**で参考になりました。
- **総合で動きが大きくなってきた。**夢中になってオイル缶を切る子どもの姿を見るとうれしく思う。アクティブにつながったような気がする。
- 模擬選挙を実施する時は今まではほとんど自分のみが行っていたが、**私から科へ、そして全校へと初めて広げることができた。**
- 「まあ大丈夫だろう」と考えずに、自身が一歩踏み出して行動し、児童や保護者、**同僚と関わることにより、学校の危機管理について考えるようになった**ことから、アクティブになることにつながったと思います。
- 今年度受講した2つの講座は本当に私自身のためになりました。**なんとなく敬遠していた今までの自分が恥ずかしいです。**
- アクティブになるためには自分自身の心構えが大切だと思いました。今回の研修に限らず色々な場面でアクティブに職場をつなげたらと思います。
- アクティブ・ラーニングというコトバがひとり歩きしている（あるいはきちんと理解されていない子）感があります。是か非かではなく従来の授業との融合が大切かと思います。
- 小さな一歩でも、確実に踏み出す大切さを感じました。

生涯学習推進センター共催講座

- 地域の活動に具体的につながるアイデアをいただいた。**コミュニティスクールがますますアクティブになると**思います。

情報教育・産業教育研修

- ICT 機器は情報化社会の中で普及がめまぐるしく変化したり、新しいものがでてきたりしている。それに対し、**逃げ腰だった自分がとても興味をもてるようになった。**
- **受講後同僚間で ICT 機器について話題になり、大変良い機会を得られた。**今後はできることから少しずつ授業に ICT 機器を活用し、生徒がアクティブに参加できるような授業展開を考えていきたい。
- **ビデオを作り、生徒に見せることは、より積極的なアクション**なのでつながった。
- ソフトを利用して何ができるかが分かったので、積極的にソフトを利用してみたいという気持ちになった。それを職員会で共有することもできたので、知らない時よりは自分が職場でアクティブになったように思う。

生徒指導・特別支援教育研修

- アクティブ・ラーニングにつながったと考える。授業において、生徒が**能動的、主体的に課題となる実習内容に取り組めるよう支援の質が向上した。**
- 自分自身はアクティブになることにつながりました。結局、生徒も私たち職員もアクティブになるとは、自分の頭で考える（思考する）ことだと思いました。
- 「なるほど」と思うような教材教具について紹介したところ、先生方が「**ぜひ使ってみよう**」「**来年度も購入してみよう**」という話題で盛り上がりました。とてもよかったです。
- 受講した内容を職員間で話題にし、子どもの支援に生かしていきたいと共通認識をしました。多少なりとも、アクティブにつながることが出来ました。
- 研修した内容が分かりやすく、授業をこう組み立てよう。こんな教材を作って子どもたちに提案しようと思うきっかけになった。
- ユニバーサルデザイン化を通して日頃から職員間で情報交換する機会も増え、**自分と児童・職員がつながってきている**と感じている。

総合教育センターより

教師自身の自己肯定感が増したことで、自信につながり、意欲的に授業改善に取り組み、授業が変わることで子どもの変化へとつながったことが見えます。有効な手立ての共有はすみ受講者から教科、学年へ、そして全校へと広げることにもアクティブになったことが見えます。センターとしては、いただいた貴重な意見を参考に、より一層の研修講座の充実を図りたいと思います。アンケートへのご協力ありがとうございました。

4 次年度に向けて

総合教育センターでは、より一層の研修講座の充実を図るために、いただいた貴重なご意見について検討し次年度に向けて、次の改善案を考えています。

○受講者のニーズ・抱える課題の多様化への対応

新たな教育課題に対応するための内容を取り入れ、研修講座で模擬授業、実践発表、演習を充実させます。配付するテキストは常に最新の情報を掲載します。

講座のターゲットを絞ったり、広げたりすることで受講効果を上げます。

講座案内の掲載内容を再考して、申込みの際に対象やねらいをわかり易く変更します。

受講後に「とても役立った」と思っていただけの講座を目指します。

○講座構成

「集まる研修」の良さを生かします。

受講者同士の考えに触れ合うことは、実践への意欲につながります。講義と演習や協議のバランスを考え、講座の中で演習や協議の時間を十分とります。

○ICT

情報教育に関する研修講座を精選し、「プログラミング教育に関わる講座」の新設を考えます。

学校ですぐに使える「もの」の紹介、「活用法」を提供します。

講座によっては、ねらいを1点に絞らず、複合的な内容にすることで、短期的な目標と長期的な見通しがもてる講座を考えます。

○報告促進

研究会や職員会での報告は確実に増えていますが、より一層報告し易くなるように、学校長・教頭に報告する場面を設定していただけるようにセンターが伝えます。

研究会、学年、職員会などでの共有を視野に入れたテキストや資料づくりを目指します。

講座の中では、具体的な共有の方法について提案します。

○アンケート方法・内容の変更

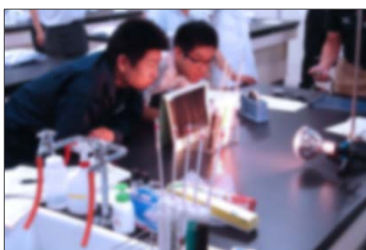
設問項目・対象者選定を見直し、学校長・受講者の負担を減らす方法に変更します。

○受講促進

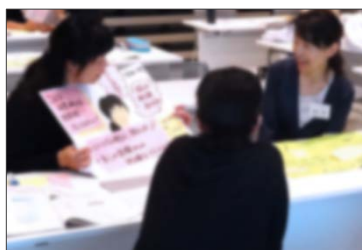
上記の結果として「また受講したい」「同僚にすすめたい」と思っていただけの講座を目指します。

○最後に

受講者・主事共にATM（明るく、楽しく、前向き）に、そして夢がもてるような講座を目指します。



産業教育研修
生徒の興味を高める環境実験
～農業・工業・理科の授業に活用しよう～



教科等教育研修
図書館を使って調べ学習
～課題設定からまとめ・表現まで～



学校力・学力の向上を目指す研修
高校における主権者教育
～有権者として求められる力をつける指導のあり方～

講座の様子